

ふれあい情報

2025年5月21日(水) 第398号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田那智子
 ■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11



日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



連合会館2階203会議室

日本退職者連合

第5回幹事会を開催

5月14日(水)、「第5回幹事会」を開催して、各種委員会・会議の報告および各ブロックからの活動報告を受けた後、協議事項内容について確認しました。

協議事項では、第29回定期総会に向けた準備として、議案審議および開催準備について確認しました。また、来年の核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みを進めていくこととしました。

人見会長あいさつ



今通常国会は、残り一ヶ月余りとなり、重要法案として

年金改革法案が近日中に閣議決定され国会で審議される予定になっています。

この年金改革法は、私たちにとって重要な課題であり、政策・制度要求実現に向けた議論を求めて、引き続き野党に対して要請をしていきます。そして、国民が本当に安心できる年金制度の構築を求めていきます。

選択的夫婦別姓制度の実現に向けて、団体署名、与野党への要請、法務省・内閣府への要請など取り組んできましたが、政府は未だに法案提出に至っていません。また野党間においても調整が難航して成立が厳しい状況となつていきます。

しかし、人権問題を含めて重要な課題であるので、選択的夫婦別姓制度の実現のために最後まで取り組んでいくこととします。

今、参議院選挙を前に消費税減税問題が議論になっていますが、社会保障制度等に影響する可能性もあるので、しっかりと議論をして進めてもらいたいと思つていきます。

また退職者連合の産別・地方組織の皆さんには、参議院選挙で政権交代に向けてステップアップするために、組織内候補者・連合推薦候補者の当選を目指して取り組みをよろしく願います。

今年、戦後・被爆80年という大きな節目の年であり、様々な取り組みが予定されていますが、先の憲法記念日

に自民党議員による沖縄戦の歴史を書き換えるという無責任な発言で全国的に批判がありました。若い人を含めて歴史の問題を正確に認識しておくことが重要です。連合の「核兵器廃絶1000万署名」に対して退職者連合として100万筆の署名に向けて積極的に取り組んでいくこととします。議員・家族の皆さんの御協力をよろしく願います。

活動報告と協議事項提起

協議事項提起

野田事務局長からの活動報告ならびに各ブロックからの報告を受け、意見交換を行いました。その後、協議事項が提起され、全体で確認して第5回幹事会を終了しました。

◎報告事項

○退職者連合第29回定期総会の告示について

○退職者連合選挙管理委員会の設置について

○2025年度会費納入人員の登録について

○各種委員会報告

○2024年度政策・制度要求の特徴的な取り組み事例の紹介

○連合政策局との「2025年政策・制度要求(素案)」の調整について

○選択的夫婦別姓の早期実現を求める要請について

○自民党厚労部会・社会保障制度調査会年金委員会合同会議について

○連合第27回参議院選挙候補予定者の推薦について

○第96回メーデー中央大会について

○関係団体・組織の諸会議・行動について

○ふれあい情報の発行について

○ブロックからの報告

○連合からの報告

○協議事項
○第29回定期総会スローガン(素案)、2025運動方針(素案)、政策・制度要求(素案)、第2次ジェンダー平等推進計画(素案)について

○第29回定期総会の開催準備について

○2025地方代表者会議の開催について
○核兵器廃絶1000万署名の取り組みについて
以上

ブロックからの報告

北海道ブロック

4月に「認知症」をテーマにジェンダー平等の学習会を開催した。

退連として、連合北海道の組織拡大推進特別委員会に出席して、取り組みの説明および退職者連合の組織拡大や組織強化への協力要請を行った。

「被爆80年 高校生被爆ピアニコンサート」でクラウドファンディングに取り組みで目標額を達成することができ、7会場でコンサートを開催して延べ1600人に来場していただいた。
ご協力いただいた皆様から感謝申し上げます。

東北ブロック

ブロック第30回定期総会を5月29日(木)に秋田市で開催予定としている。

各県退連の取り組みは資料に記載の通りであり、当面は7月に予定される参議院選挙の組織内候補の必勝に向けて全力で頑張っている。

先日行われた秋田県知事選挙では、連合、国民民主、立憲民主、共産党、公明党などが支持をした候補が落選した。当選したのは、若い人や大学生が支援した49歳の候補者で、30代の投票率が高かったことが影響しているようでした。全国的にこういう現象が出てくるのではないかと感じた。

関東ブロック

ブロック代表者会議を5月22日(木)〜23日(金)

に千葉県で開催し、参議院選挙への対応や各種取り組みについて議論する予定としている。各県退連では、幹事会・学習会・組織対策・参議院選挙対応などを取り組んでき

ている。

東京高退連では3月10日(月)に「東京大空襲80年平和集会」を開催した。

東海ブロック

ブロック事務局長会議を4月8日(火)に名古屋市中で開催してブロック運営や統一行動の内容等について協議を行なってきた。また、ブロック協議会を6月1日(日)〜2日(月)に三重県津市で開催予定としている。

静岡退連では、連合静岡の執行委員会に出席して退連の活動内容等について説明して組織拡大への協力などを要請した。

北陸ブロック

各県退連で幹事会や研修会、レク活動などを実施してきた。

新潟退連では、7月の参議院選挙に向けて「ネット選挙の動向」をテーマとした勉強会を開催して、今後の取り組みに繋げていくこととしている。ブロック総

会を10月7日(火)に新潟県で開催予定としている。

近畿ブロック

ブロック事務局長会議を6月11日(水)に大阪で開催予定としている。

また、毎年開催している「ブロック2025ハイキング」について、10月16日(木)大阪城での開催に向けて準備を進めている。

和歌山退連は熊野古道の清掃活動、兵庫退連は川柳祭典など取り組んできた。大阪退連は6月に「大阪高齢者集会」を予定している。

中国ブロック

ブロック第29回幹事会を5月7日(月)にwebで開催し、戦後・被爆80年の取り組みについて議論を深めた。

今後の予定として、6月1日(日)に「戦後・被爆80年」をテーマとしたシンポジウムと講演会を広島国際会議場において250名規模の開催に向けて準備を進めている。

四国ブロック

各県退連において、幹事会や定期総会を開催してきている。ブロック幹事会を5月22日(木)に開催して7月の参議院選挙に向けた取り組み等について議論していくこととしている

とくに投票率の課題について連携をしていくこととしたい。

九州ブロック

各県退連で、幹事会・学習会等を実施している。また、7月の参議院選挙に向けて各県ごとに対応をしている。ブロックとしては、7月29日(火)に大分県で幹事会を開催して、選挙総括、政策・制度要求、組織拡大について議論する予定としている。

連合本部

第27回参議院選挙候補予定者の推薦として、比例代表10名と選挙区39名を連合として推薦確認をしている。

また、選挙区における野党候補者の調整などについて、連合本部としてしっかりと対応していきたいと思っっている。

を上げる状況となっている。引き続き労働組合の重要性を訴えていきたい。

5月28日(水)に「第95回中央委員会」を開催して、2025春季生活闘争の間まともを行う予定としている。

『2025 全国高齢者集会』 第1回実行委員会を開催

<実施概要>

集会名 「2025全国高齢者集会」
 開催日時 2025年9月18日(木)13:00~16:15
 開催場所 文京シビックホール(1500名規模)
 〒112-0003
 東京都文京区春日 1-16-21 ☎03-5803-1100

主な内容

オープニング ~ 主催者代表挨拶 ~ 来賓挨拶・基調報告
 講演 ①「特殊詐欺被害を食い止めろ」(仮題)
 講師 杉 良太郎(警察庁特別防犯対策監)
 講演 ②「国際電話(詐欺電話)利用休止の案内」(仮題)
 講師 警察庁担当者
 講演 ③「平和大使の活動について」(仮題)
 講師 高校生平和大使
 集会アピール ~ 団結がんばろう!

~ 第96回メーデー中央大会が開催されました! ~

4月26日(土)、連合第96回メーデー中央大会が東京・代々木公園で開催され、29,200人の働く仲間やその家族が参加して労働条件の改善、人権の確立、平和への思いなど共有しました。退職者連合も500名の会員が参加しました。



冒頭、主催者代表挨拶で芳野会長が「今日ほど、『平和なくして労働運動なし』『民主主義なくして労働運動なし』ということを実感できる日はなく、先人への敬意と感謝を表し、今を生きる私たちが、未来に向かって平和を求め続ける決意を新たにすメーデーとしたい」と述べました。その後、来賓挨拶・協賛団体紹介等が行われ、最後に「戦後・被爆80年~次代につなぐ平和の特別決議~」と「第96回メーデー宣言」を満場の拍手で採択し終了しました。

以上



2026年「核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議」に向けて、核兵器廃絶に向けた内外の世論を高めるため、核兵器廃絶と恒久平和を目指し、「核兵器廃絶 1000万署名」の取り組みを展開していきますので、会員・家族・知人・友人その他多くの方への署名呼びかけをよろしくお願いいたします。

背景

戦後・被爆80年が経過し戦争の記憶が風化しつつある中、平和の尊厳、戦争の悲惨さ、そして核兵器廃絶を訴え、平和運動を強化していくことが、きわめて重要な取り組みとなっています。

世界的にも、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を希求する機運が高まっていて、「ノーモア・ヒバクシャ」を世界に訴え続けてきた「日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)」がノーベル平和賞を受賞しました。しかしながら、世界的に対立と分断が深まり「平和・人権・民主主義」を取り巻く情勢は一

層厳しさを増し、核弾頭は世界に未だ約12,120発が存在しています。

目的

世界の核兵器廃絶を求めて、2026年「核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議」に向けて、核兵器廃絶に向けた内外の世論を高めるため、核兵器廃絶と恒久平和を目指し、「核兵器廃絶1000万署名」の取り組みを展開し、集約した署名数をもつて、国連ならびに日本政府に対して核兵器廃絶に向けた要請を行います。

取り組み期間

2025年4月～2026年3月

署名方法

「オンライン署名特設サイト(連合HP)」による署名と「署名用紙への直接記入」の二通りで実施します。オンライン署名は連合ホー

ムページの特設サイトから1～2分で終了(一回で10名まで可能)しますので積極的に署名をお願いします。また、署名対象者は国籍・年齢・居住地域(日本以外も可)等関係なくすべての人が対象です。

退職者連合として、100万筆署名を目指して、産別組織・地方退連組織から会員の皆様にご協力がいきますので、できるだけ多くの方のご協力をお願いします。



連合特設サイトに移行するQRコード